

モニタリングの対象期間  
H29.4.1～H30.3.31

# モニタリング結果の概要

1	施設名	松山市畑寺福祉センター		施設数	1	4	評価区分	担当課	指定管理者			
	指定管理者	(社福)松山市社会福祉事業団				施設利用状況	3	3	職員配置		4	4
2	職員数	常勤	16	非常勤	4	管理状況	コスト縮減	3	3			
	指定期間	H26.4.1 ~ H31.3.31		担当課	障がい福祉課		収益	2	2			
3	主な業務	就労継続支援(B型)事業、児童発達支援事業、ふれあい交流スペースの貸出				自主事業の実施	-	-	サービス向上		4	4
		設備等管理	4	4	危機管理		3	3			利用者評価	4
3						5 サービス向上のための取組(実績)						
事業収支 (千円)						(畑寺児童発達) ・利用者のアンケート調査の結果を取りまとめ公表し、来年度の準備に生かした。 ・他事業所の事業推進や支援方法の向上等のため可能な協力を行った。 ・今後の事業の方向性を市と協議した。(児童発達支援推進委員会) (畑寺就労継続支援) ・施設外就労について利用者のニーズや体調等を配慮しながら調整を行った。						
導入前						6 前年度の課題と改善策						
H28年度						7 担当課コメント(評価・指摘事項)						
H29年度						・児童発達支援事業では、今後も保護者からの聞き取りにより、食事、排せつ着脱などに関する援助について助言を行い、また、子どもの発達や関わり方を学ぶ勉強会を保護者向けに実施し、利用率の増加に繋がっていきたい。 ・情報資産の持ち出し制限やパソコンの監視については、システム対応経費が必要であるため、検討課題として協議を継続していく。						
対前年差						・児童発達支援事業では、児童発達支援センター、保健所、療育センター及び保育園などと連携を図り、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に努めてもらいたい。 ・就労継続支援事業では、今後も新規利用者の獲得及び市有施設の清掃業務など施設外就労による利用者の工賃向上に期待したい。 ・ふれあい交流スペースは、地域の高齢者の生きがいづくりの拠点として幅広く利用してもらいたい。						
対導入前差												

1 【職員数】  
現在、施設を維持管理するために配置されている指定管理者の職員数です。

5 【サービス向上のための取組(実績)】  
指定管理者が実施したサービス向上の取組や自主事業を挙げています。

2 【主な事業】  
指定管理者がこの施設で行っている業務・活動内容です。

6 【前年度の課題と改善策】  
指定管理者と担当課が認識している前年度(H29)の課題と、今後の改善策の内容です。

3 【事業収支(コスト・収入)】  
指定管理者制度導入前や導入後(H28・29)の指定管理者と市のコスト・収益の合算額を表示しています。「対前年差」は「H29年度実績-H28年度実績」、「対導入前差」は「H29年度実績-導入前の実績」の計算により算出しています。これらの差がマイナスの場合は、「▲」の表記をしています。

7 【担当課コメント(評価・指摘事項)】  
前年度(H29)の指定管理者の業務に対する評価事項、改善すべき指摘事項についての担当課のコメントです。

4 【5段階評価】  
9項目についての、担当課と指定管理者の評価です。

≪判定基準≫  
5：指定管理者のノウハウや努力により、目標水準を大きく上回る成果が得られた。  
4：協定や仕様書を遵守の上、目標水準をやや上回った。  
3：協定や仕様書の内容とおり業務を履行し、目標水準を達成した。  
2：概ね協定や仕様書どおりの業務を履行したが、目標水準をやや下回った。  
1：市の指導・助力・助言等を受けても、協定や仕様書の内容を遵守できておらず、得られた成果は、目標水準を大きく下回っていた。

≪9つの評価項目の内容≫  
 ■施設利用状況…施設利用者数の実績  
 ■職員配置…効率的な業務実施のための的確な職員配置  
 ■コスト縮減…管理経費縮減の実績、指定管理料の適正な執行等のコスト縮減に向けた取組  
 ■収益…収益実績、料金設定の見直し、PR等の収益増に向けた取組  
 ■設備等管理…台帳の作成や目視確認、不具合の抽出等、施設・設備・備品の適切な管理  
 ■危機管理…マニュアル整備や訓練の実施等  
 ■自主事業の実施…指定管理者の経費負担、企画立案で実施した取組  
 ■サービス向上…サービス水準維持・向上のための取組  
 ■利用者評価…利用者アンケート等による評価